

英語科 学習指導案

枚方市立招提北中学校
指導者 教諭 鈴木 秀和
教諭 内田 真奈美
NET ホセ カミノ

1. 日 時 平成 25 年 9 月 13 日 (金) 6 校時 / 14:35 ~ 15:25
2. 学年・組 第 3 学年 1 組 (男子 15 名、女子 19 名)
3. 授業教室 鈴木クラス 英語少人数教室 (教室棟 2 階)
内田クラス 3 年 1 組教室 (教室棟 1 階)
4. 単 元 名 Speaking Plus 2 食事の会話 New Horizon (東京書籍)
5. 単元目標
 - ・間違いを恐れず積極的に英語で言語活動に取り組む。
 - ・「…はいかがですか」と人にものをすすめたり、「お願いします」と応じたり、「結構です」と断ったりすることができる。
 - ・すすめられたものに対し、相手の気持ちや会話の流れを踏まえた上で、自分なりのコメントや理由を添えて英語ではっきりと意思表示することができる。
6. 教 材 観

“Would you like ~ ?” を用い、丁寧に相手の希望を聞き取ったり、自分の意思を丁寧に相手に伝える表現を学ぶ単元である。題材に食事を取り上げているため、生徒の表現に対する意欲を高め、料理名・飲料名などの表現の幅も広げやすい教材である。

さらに、モデル対話では、すすめられたものが欲しい場合に一言コメントを添えたり、欲しくない場合にその理由を述べるなど、まとまりのある会話を意識した構成となっている。
7. 生 徒 観

指示されたことに対して真面目に取り組む生徒が多い。しかし、人前で発表したり、手を挙げて発言することについては恥ずかしいと感じ、失敗を恐れる傾向が強い。昨年度より発表の機会を増やすなどの授業改善により、元気に自信を持って活動する生徒も徐々に増えつつあるが、学習集団としてはまだ成長過程にある。

また、一部に、学習意欲が低下してしまっている生徒もおり、難しい課題に直面すると、すぐに投げ出してしまうため、個に応じた課題を設定したり、テンポのよい授業展開によって集中力を持続させる必要がある。
8. 指 導 観

授業の構成を、教科書を用いて基本となる会話を繰り返し音読させて定着させる基本ステップと、生徒が自分自身の考えや希望を表現したり、臨機応変に会話をまとまりのあるものにする応用ステップの二段階構成とし、それぞれの生徒が課題意識を持って取り組むことができるよう工夫したい。

基本ステップの音読についてはくり返し何度も読ませることを意識するとともに、生徒を飽きさせないよう、様々な方法を織り交ぜながらテンポよく進めることを意識したい。

応用ステップについては、生徒のユニークな発想を最大限生かせるよう工夫するとともに、ペアワークで、生徒が相手の反応を見ながら、お互いに「言いつばなし、聞きつばなし」にならないよう、まとまりのある会話を意識させたい。

9. 単元の評価規準 は本時の評価

コ	表	理	言
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
①ペアワークにおいて、間違いを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。	①英語でものをすすめたり、すすめられたものに対し、依頼したり断ったりすることができる。	①相手の希望を正しく理解することができる。	/
	②相手の気持ちや会話の流れを踏まえた上で対応することができる。		/

10. 指導と評価の計画

時数	○ねらい ・ 学習内容	評価規準				評価方法
		コ	表	理	言	
第1時	○本単元で身に付ける表現を知る。 ・「…はいかがですか」と人にものを進めたり、「お願いします」と応じたり、「結構です」と断ったりする表現を知る。 ・教科書の音読 ○相手を意識した会話をする。 ・ペアワーク ○おすすめしたい食べ物や飲み物の言い方を知る。 ・調べ学習	①	①			・ペーパーテスト（後日） ・活動の観察 ・ワークシートチェック
第2時 (本時)	○ワークシートで基本表現を復習する。 ・ダイアログの音読 ・ペアワーク (Big voice, Big Smile, Eye contact) ○会話を継続させるために必要な表現を知る。 ・ワークシート ○人に食べ物や飲み物をすすめる。 ・アクティビティ		②	①		・活動の観察

11. 使用教材

デジタル黒板、ノートパソコン、書画カメラ、デジタル教科書、PPT教材、ワークシート

12. 本時の学習

(1) 目標

- ・間違いを恐れず積極的に英語で言語活動に取り組む。
- ・英語を用いて友達に自分の好きな料理や飲料をすすめる。また、すすめられたものに対し、相手の気持ちや会話の流れを踏まえた上で、自分なりのコメントや理由を添えて受け答えすることができる。

(2) 展開

学習内容・時間・生徒の活動	教員の支援		指導上の留意点	評価規準・方法等
	JET	NET		
1. Greetings (3 min.) 2. One Minute Chat (7 min.)	・ペアで One Minute Chat をさせる。	・挨拶をする。 ・簡単な表現のクイズを出題する。 ・Reporting をさせる。	・既習表現について習熟度を考慮しながら発問する。 ・“Have you ever been to Kyoto?”について chat させ、パートナーが話した内容を Reporting させる。	
3. Review (10min.)	・パワーポイントを利用して前時に学習した基本的なダイアログの練習をさせる。	・発音、抑揚、語調などについて机間指導する。	・前時に学習した基本ダイアログが定着しているか確認する。 ・くり返し何度も読ませることを意識する。	
4. Preparation for the activity (15min.) ①Introduction ②Oral Reading ③Pair Work	・本時の目標を示す。 ・まとまりのある会話に必要な要素を考えさせる。 ・学習した表現を使ってペアで会話をさせる。	・Worksheet を用い、コメントや理由となり得る表現を音読させる。 ・発音、抑揚、語調などについて机間指導する。	・簡潔にまとめる。 ・既習事項を最大限活用させることに重点を置く。 ・特に会話のリズムを注意させる。	
5. Activity (10 min.)	・ペアを自由に組ませ、様々なパターンの会話をさせる。	・発音、抑揚、語調などについて机間指導する。	・会話の流れに整合性があるか、自然なリズムで会話しているかを確認する。	表2 理1 ・活動の観察
6. Summary (5 min.)	・会話がスムーズにできたパートナーと、その理由を発表させる。	・基本表現を確認する。	・友人の取組の良いところに気付くことができるよう、促す。	

(3) 板書計画

Today's 友達に食べものをすすめよう！ Target	
<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボールのやり方は？ ①ボールを投げる ②ボールを受ける ③受けたボールを投げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・いいキャッチボールのコツ ①相手の様子を見る ②受けやすいボールを投げる ③受けたらすぐ投げる

本日の研究協議では下記の3点を中心に協議を進める予定です。これらの視点から授業を見ていただきますよう、お願い致します。

1. 生徒が間違いを恐れず積極的に英語で言語活動に取り組むことができていたか。また、生徒の活動意欲を高めるためには、どのような工夫ができるか。

2. 生徒は意欲的に音読に取り組むことができていたか。読ませる回数や方法、発音やアクセントなどの指導は適切であったか。また、効果的な音読について、どのような工夫ができるか。

3. 生徒は「言っぱなし、聞きっぱなし」にならない、まとまりのある会話ができていたか。また、まとまりのある会話をさせるためには、どのような工夫ができるか。

※その他気付かれた点など